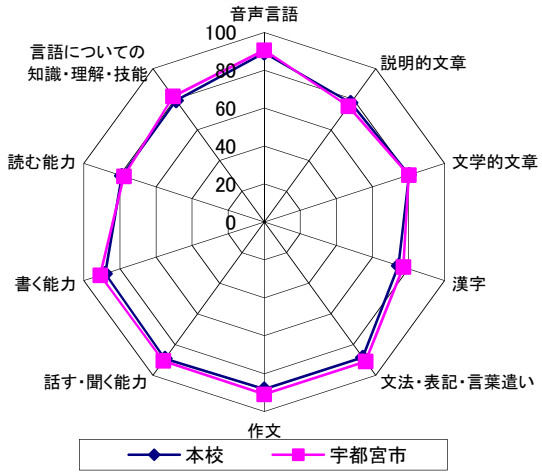
宇都宮市立旭中学校第３学年【国語】領域別／観点別正答率

★本年度の宇都宮市と本校の状況

		本年度	
		本校	宇都宮市
領域別	音声言語	89.1	90.6
	説明的文章	77.6	75.5
	文学的文章	80.4	80.2
	漢字	74.5	77.2
	文法・表記・言葉遣い	88.4	91.0
	作文	88.2	90.9
観点別	話す・聞く能力	89.1	90.6
	書く能力	88.2	90.9
	読む能力	79.0	77.8
	言語についての知識・理解・技能	79.2	81.8



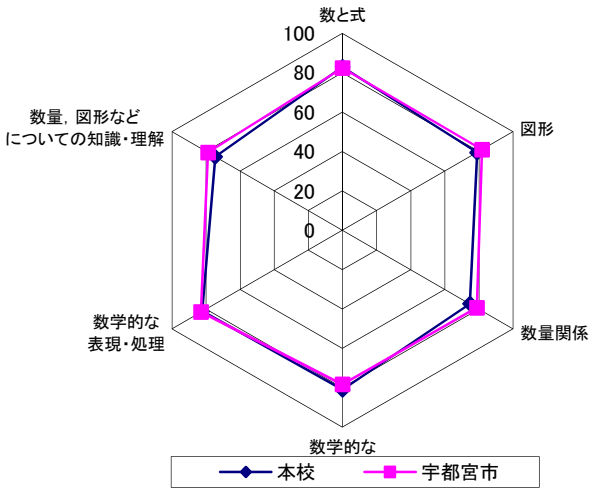
★指導の工夫と改善

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
音声言語 (89.1%)	・宇都宮市と平均正答率と比べ1．5ポイント下回っており、特に「話の趣旨の聞き取り」が聞き取ることができなかった。	・授業の中で「聞き取りテスト」を取り入れて、聞くことに慣れさせていきたい。 ・話し合いや討論、スピーチの活動の中で、聞き取りメモをとりながら、話の趣旨をとらえられるようにしていきたい。
説明的文章 (77.6%)	・「文章に即した内容の理解」では、宇都宮市と比べ、8．6ポイント上回った。しかし、「語句が指示する内容」では、市の平均正答率を3．2ポイント下回ってしまった。全体として2．1ポイント上回っている。	・語句が指示するないようの読み取りができなかった。「これ」や「この〇〇」が指示することをつかめるような読み取りを繰り返し学習させていきたい。 ・接続語の働きに注意しながら筆者の論理の展開を捕らえさせるように指導していきたい。
文学的文章 (80.4%)	・「登場人物の心情」の読み取りでは、宇都宮市と比べて、2．8ポイント上回った。しかし、「語句の補充」では、市の平均正答率より1．7ポイント下回ってしまった。全体として0．2ポイント下回った。	・登場人物の行動・動作をおさえながら、登場人物の心情や人物像をとらえていけるようにしていきたい。 ・物語の展開を抑えながら、だれが行った動作か（主語）を押さえながら読み取れるようにしていきたい。
漢字 (74.5%)	・中学2年の漢字「応援」は書けていたが、中学3年の漢字「派遣」の書き取りと「廃棄」のよみとりができなかった。全体的には、宇都宮市の平均正答率と比べ、2．7ポイント下回った。	・授業時間の最初に実施している小テストを、テストだけでなく練習することに重点を置いて、繰り返して身につけられるようにしていきたい。 ・新出漢字を使った短文作りをやりながら、実践的な漢字を身につけさせていきたい。
文法・表記・言葉遣い (88.4%)	・「敬語の使い方」と「助動詞の識別」ができたいなかった。全体的にも、宇都宮市の平均正答率と比べ、2．6ポイント下回っていた。	・尊敬語と謙譲語の意味・用法の違いを、いろいろな場面で意識して使えるようにしていくとともに、プリントなどで復習できるようにしたい。 ・受身・自発・尊敬・可能の「れる・られる」など意味・用法をプリントを使って復習できるようにさせたい。
作文 (88.2%)	・「今までに読んだ本の紹介」や「立場をはっきりさせて理由を述べる」作文は、指示通り正確に書ける生徒は宇都宮市の平均正答率を上回っていたが、表現する努力をやめてあきらめてしまう生徒が多かった。また、昨年同様「副詞の呼応」の作文はできたが、「慣用句の活用」の短作文はできなかった。	・「副詞の呼応」を使う作文はしっかりかけていた。慣用句や故事成語を使う作文の練習やあきらめずに最後まで書く指導をしていきたい。 ・「だれが・何に・どうする」という形で短文を作る練習を繰り返し指導していきたい。

宇都宮市立旭中学校第３学年【数学】領域別／観点別正答率

★本年度の宇都宮市と本校の状況

		本年度	
		本校	宇都宮市
領域別	数と式	82.9	82.4
	図形	78.9	81.8
	数量関係	74.6	78.7
観点別	数学的な見方や考え方	81.0	78.3
	数学的な表現・処理	82.3	82.9
	数量，図形などについての知識・理解	74.6	78.8



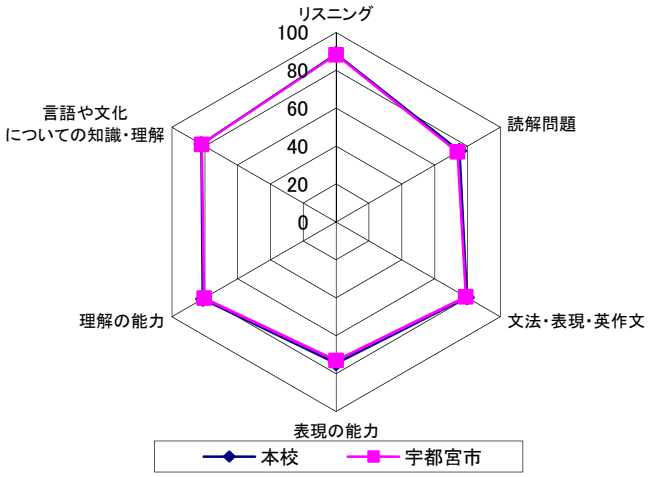
★指導の工夫と改善

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
数と式 (82.9%)	・宇都宮市と本校を比較した場合、市を0.5ポイント上回っている。しかし、市を下回っている内容が6項目あり、特に、平方根の大小、素因数分解、平方根が整数となる値において、正答率の落ち込みが大きく、今後の指導が必要である。	・2乗の考え方など、1年生の復習をしながら、平方根の考え方につなげていけるよう支援していきたい。 ・基本的な内容、考え方が定着できるように、支援していきたい。
図形 (78.9%)	・宇都宮市と本校を比較した場合、市を2.9ポイント下回っている。特に、円周角の定理において、正答率の落ち込みが大きかった。	・円周角の定理を使う問題に多く触れさせ、定着できるよう支援していきたい。 ・相似条件を正しく選べていない生徒が2割程度見られたので、多くの問題に触れさせ、理解を深めたい。また、証明の仕方については、2年生の合同の証明からのつまづきが考えられるので、証明をパターン化し定着を図れるよう支援していきたい。
数量関係 (74.6%)	・宇都宮市と本校を比較した場合、市を4.1ポイント下回っている。Xの2乗に比例する関数において、どの問題も市を下回り、今後の指導が必要である。	・変化の割合については、表を用いて丁寧に指導し、理解を深めさせたい。 ・変域については、グラフを用いて、細かく確認しながら指導し、理解できるよう支援していきたい。

宇都宮市立旭中学校第３学年【英語】領域別／観点別正答率

★本年度の宇都宮市と本校の状況

		本年度	
		本校	宇都宮市
領域別	リスニング	88.7	88.2
	読解問題	75.1	73.9
	文法・表現・英作文	79.6	79.0
観点別	表現の能力	74.5	73.1
	理解の能力	81.3	80.4
	言語や文化についての知識・理解	82.1	82.0



★指導の工夫と改善

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
リスニング (88.7%)	宇都宮市と本校を比較した場合、市の平均より０．５ポイント上回っている。昨年は１．２ポイント下回っていたので、昨年度から取り組んできたことが、功を奏したと思われる。	・引き続き、1時間1時間を大切にして生徒が分かるまで繰り返しの学習を行っていきたい。
読解問題 (75.1%)	宇都宮市と本校を比較した場合、市の平均より１．２ポイント上回っている。昨年は1、8ポイント下回っていたので、昨年度から取り組んできたことが、実を結んだのであると思われる。	・引き続き、1時間1時間を大切にして生徒が分かるまで繰り返しの学習を行っていきたい。今後もトレーニング的学習を継続するとともに、生徒にとって興味関心のありそうな楽しい教材を使っていきたい。
文法・表現・英作文 (79.6%)	宇都宮市と本校を比較した場合、市の平均より０．６ポイント上回った。さくねんは、２，７ポイント下回っていたので、昨年からの取り組みが生徒によく理解されたものと思われる。	・適切な言語活動と練習問題を継続しておこなっていきたい。